1時間の雨量	雨の降り方	
10~20ミリ やや強い雨	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元 がぬれる。話し声がよく聞き取れない。地面一 面に水たまりができる。	
20〜30ミリ 強い雨	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。寝ている人の半数 が雨に気づく。ワイパーを速くしても見づらい。側溝 や小川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。	
30~50ミリ 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川 のようになる。山崩れ・がけ崩れが起きやすく なり、危険地帯では避難の準備が必要。	
50~80ミリ 非常に激しい雨	滝のように降る。傘は役に立たなくなる。水しぶきであたり一面が白くなり、視野が悪くなる。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	
80ミリ以上 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。	

非常に激しい雨が何時間も同じ終わりごろによくおこります。

中して降る豪雨のことで、梅雨の

短時間のうちに狭い範囲に集

昭和57年7月23日に発生した長崎大水 害も集中豪雨によるものです。

場所に降り続くと、河川

の氾濫や

土砂災害などによる大きな被害

ち早く安全な場所に避難すること づいたら、周囲の人にも知らせ、い 現象が現われます。前兆現象に気 きには、多くの場合、何らかの前兆 たらします。これらが発生すると 財産を奪うなど、甚大な被害をも て、尊い生命や家屋などの貴重な べり」「土石流」があり、一瞬にし

がけ崩れ

地面が雨水の浸透などでゆるみ、

突然、崩れ落ちる現象です。瞬時に

崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多

く、被害が大きくなります。

しま

土砂災害には、「がけ崩れ」「地す

万全の態勢をとるようにしま が予想されます。がけ付近や造成 地などは気象情報に十分注意し、 地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水 などの影響で、ゆっくりと動き出す 現象です。一度に広範囲で発生す るため、甚大な被害を及ぼします。



- がけにひび割れができる。
- ・がけから小石がパラパラと落ちて くる。
- ・がけから水が湧き出る。
- ・地鳴りがする。

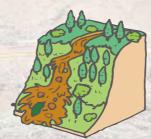
主な前兆現象

## 主な前兆現象

- ・地面がひび割れたり陥没したり する。
- ・がけや斜面から水が噴き出す。
- ・井戸や沢の水が濁る。
- ・地鳴り・山鳴りがする。

## 土石流

谷や川底の石や砂が大雨などによ り一気に下流へ押し流される現象 です。破壊力が大きく、速度も速し ため、大きな被害をもたらします。



## 主な前兆現象

- ・山鳴りがする。
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり 始める。
- ・雨が降り続いているのに川の水位 が下がる。



ためにも、最新の台風情報を確認よる被害を最小限に食い止める 15m/s以上)の半径」、強さは ましょう。 に、なるべく外へ出ないようにし 「最大風速」で表されます。台風に よる事故に巻き込まれないよう 台風の大きさは「強風域(風速

接近している間は、大雨や強風に きな被害をもたらします。台風が 年多数の台風が接近または上陸 風」と呼びます。日本列島には毎 (メートル/秒)以上のものを「台 (10分間平均)がおよそ し、強風と大雨によりたびたび大 熱帯低気圧のうち最大風速 17 m /

# 台風の大きさ(強風域の半径)

大型(大きい)	500km以上	
超大型(非常に大きい)	800km以上	

# 台風の強さ(最大風速)

強い	33m/s以上~44m/s未満
非常に強い	44m/s以上~54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

